

ローカルベンチャースクール

1次選考合宿 1月27日～29日



令和4年度のローカルベンチャースクールが開催されました。厚真町で起業に挑戦する「起業型地域おこし協力隊」と、企業に所属したまま厚真町で新規事業に挑戦する「地域活性化起業人」の希望者に対して、審査を行うプログラムです。



事業プランの発表

事前に作ってきた資料をもとに事業プランを順番に発表します。「魚介の燻製」「ツリーリング（ロープを使った木登り）」「羊の生産」「遊休地を活用したキャンプ場開発」など、バラエティに富んだ起業プランが発表されました。



1
日
目



メンタリング（対話・助言）

総勢10人のメンター（助言者）による問い合わせが行われます。町から本事業を受託するエーゼロ厚真のほか、日本政策金融公庫、札幌よろず支援拠点、厚真町商工会事務局の皆さんにご協力いただきました。

こんな問い合わせが
あります

- ・なぜ、この事業を行いたいのか
- ・なぜ、厚真町で行うのか
- ・想定する顧客
- ・売り上げの規模
- ・経験はどれくらいあるのか

講 義

事前に作ってきたプランは、メンターからの問い合わせを通じてさまざまな修正が必要となります。もう一度事業プランとしてまとめるために何を考えなければならないのか、「事業構想」の講義が実施されます。さらに、自分の事業プランを他者に理解してもらうために、相手に分かりやすい形で発表することが重要で、コツを学ぶ「プレゼンテーション」の講義も行われました。



2
日
目



3
日
目

事業プランの発表

最終日は1次選考のためにもう一度、事業プランの発表を行います。2日目のプログラムを経て、初日の発表とは見違えるものに変化していました。「自らが大切にするもの」「事業を通じて実現したいこと」を、とことん掘り下げていく中で、事業を創るための覚悟が磨かれた成果が垣間見られました。



3日間の合宿では、町内事業者のお弁当を用意して参加者に厚真の食材を味わっていただきました。「こんなにおいしい食事があるなら、町に来るのがますます楽しみになった」との感想もありました。



最終選考会は2月19日

8人が1次選考を通過しました。
2月19日の最終選考会に向け、さらに具体化した事業プランを組み立てました。